

科目名	ソーシャルワークの理論と方法（専門）（社会福祉士必修）		
授業形態	講義	学年	2
開講時期	2022年度 前期～後期	単位数	4
担当教員	菊地 恵子		
内容および計画	<p>学習のねらい</p> <p>①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。</p> <p>②支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。</p> <p>③社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。</p> <p>④個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。</p> <p>クライアントや連携・協働を図る人との間で結ぶ援助関係の形成、その援助関係を土台として、関係者・関係機関とネットワークを構築していく方法、社会資源を活用・開発していく方法、連携・協働におけるカンファレンスの持ち方、関係者との調整の方法、連携・協働を促進する方法等について学びます。</p>		
1	オリエンテーション・総合的かつ包括的な支援の考え方①		
2	総合的かつ包括的な支援の考え方②		
3	家族支援の実際①		
4	家族支援の実際②		
5	地域支援の実際①		
6	地域支援の実際②		
7	非常時や災害時支援の実際①		
8	非常時や災害時支援の実際①		
9	援助関係の形成の意義と概念		
10	援助関係の形成方法と留意点		
11	援助関係の形成方法と留意点		
12	ネットワーキング①		
13	ネットワーキング②		
14	コーディネーション①		
15	コーディネーション①		
16	社会資源の活用・調整		
17	ソーシャルワーク実践と社会資源		
18	社会資源開発の様々な方法		
19	カンファレンス・会議の種類と方法		
20	ミクロ・メゾ・マクロの会議①		
21	ミクロ・メゾ・マクロの会議②		
22	事例分析		
23	事例検討		
24	事例研究		
25	ネゴシエーション①		
26	ネゴシエーション①		
27	コンフリクト		
28	ファシリテーション		
29	プレゼンテーション		
30	ソーシャル・マーケティング		

教科書				
タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）』	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集	中央法規	9784805882498	2021
本講義では、ソーシャルワークに関連する理論および方法について学びます。様々な場面で求められる、様々な援助の進め方、かかわり方の基盤となる専門的援助技術の体系を本講義で学び、マイクロからマクロまでの実践が行える力を共に育みましょう。				
参考書	『ソーシャルワーカーのジリツ』生活書院 2015、『ソーシャルワーカーのソダチ』生活書院 2017、『臨床ソーシャルワーク』大学図書出版 2015			
成績評価				
評価方法				割合(%)
出席と授業への参加				10
授業内ミニレポート				20
期末レポート				70
学習到達目標	①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を説明できる。②支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について説明できる。③社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて説明できる。④個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を説明できる。			
先修条件				
実務経験	実務経験あり：病院MSW、在宅介護支援センターSW、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、地域包括支援センター社会福祉士等、ソーシャルワーカーとして約40年勤務。2006年から成年後見人として活動、現在まで18名の成年後見人、保佐人を務める。また、2015年から2020年まで福島県社会福祉士会の権利擁護委員長としてばあとなあ福島の運営に携わる。			
その他				